令和元年度補正

豊永林業 株式会社

〈事業計画名〉150万本の木から選べる!! 山でのオーダーメイド木材加工サービス!



原木価格の低迷に対する1つの解決策
林業の6次産業化で新たな販路開拓

事業の背景 ▶▶▶

林業の「6次産業化」を目指して

当社が扱う原木（丸太）は、主に原木市場に出荷されており、競り売りを経て製材業者や加工業者で建材や木工製品に加工し製品化されているが、最終製品になるまで複数の業者を介する為、最終商品の価格が高額になってしまう。

最近では建築資材や国産材の需要・価格は上がってきているものの、原木価格は逆に下がっており、トレーサビリティが確立していない流通工程の不透明さも相まって最終価格の根拠に疑問を覚える状況が続いている。

原木売却での収益が上がらなければ植林・造林もできず、山林所有者の経営意欲の低下・管理放棄・山林管理者（林業）の経営破綻を招き、極論ではあるが土砂崩れ等の災害防止や環境保全にも影響が出かねない。

その為、当社では「林業の6次産業化」を計画。加工・販売等の流通過程における不透明感を払拭し、「身近な林業」「顔の見える林業」をテーマに、木が伐り出されるリアルな森林現場と、木製品の使い手の方々との距離がもっと縮まる事を目指し、本事業に取り組んだ。

事業の成果 ▶▶▶

県内初の即製材プロセス

本事業においては移動式製材機と周辺機器を導入。自社で管理する山林内の立木からニーズに合う木を選定し、市場基準とは異なる自由なオーダーメイドサイズで採材。原木搬出後にすぐ製材する事を可能にした。

原木搬出後即製材という流れは奈良県内発の取組みになる。

製材後は乾燥工程が必要な為、納品まで1年程度時間は空いてしまうが、原木市場への出荷に比べ、大きな付加価値を付与出来、新たな販路開拓への手応えを得る事が出来た。

また、自分たちが伐った木を製材し、最終的には製品にまで仕上げ、消費者まで直接届ける、という生産プロセスを構築できたことで流通経路を簡略化でき、木材のトレーサビリティも確保。認証材にふさわしい製品を提供する事が可能となった。



豊永林業株式会社の概要 ▶▶▶

木を育て、道をつくり、人に届ける

当社は、吉野郡下市町の永田家の山林施業部門を法人化する形で昭和42年に設立された。永田家の歴史は古く、1700年頃から約300年、17代続く不動産経営・山林管理を行っており、その歴史を背景に、技術を磨いてきたのが当社である。

山林維持管理と搬出用作業道開設を事業の2本柱とし、吉野地域において約1,500ha（皇居外苑13個分）の山林を管理している。

2017～2018年にSGEC（森の循環認証会議）によるFM認証およびCoC認証を取得し、公共事業等で指定される「環境に配慮された木材」という国際認証木材の提供ネットワークの構築と普及に向けた取り組みを行っている。













「林業」は何代も続くリレー

世間一般に浸透している「林業」のイメージと言えば、「木を植え、育て、伐採する」であるが、そもそも木の時間軸は100年～200年と非常に長いもので、他の1次産業とは違って1世代で「植えて育てて伐る」が完結する事はほぼない。

仮に10,000本植林した場合、数世代に亘って間伐を繰り返し100年～200年かけて最終的に100本の木を選び抜いていく、という事を文化・知識・技術として継承しながら、木に関わり続けていくのが「林業」である。

「林業」業界が抱える課題

当代は間伐の代であり、次に大規模な植林を行うのは山によって差はあるが数十年後。今は植える必要がないように密度を管理しながら、良い木を残して更に育てて次代以降へ繋いでいくために間伐を繰り返している時期であるが、繋いでいく継ぎ手がいない「後継者不足」という問題を抱えている。

奈良県には独自の「山守（やまもり）」制度というものがあり、山林の管理組織として村外に住む山林所有者が、山林の保護管理を委託した事に始まり、山林の保護管理から植栽手入れ、間伐などの管理指揮まで行う。

現在の奈良県における林業の事業者は、山守その人だったり、当社のように各地区の山守を取りまとめて事業展開していたりする事業者が多いが、山守も高齢化が進んでおり引退していく者も後を絶たない。その知識・技術をどのように受け継いでいくか、が当面の課題である。

豊永林業株式会社の活動 ▶▶▶

木と山と林業に触れてもらう機会を

近年では、一般の消費者が樹齢数十年の木や森、山に触れる機会も減っており、国産の木材の成り立ち等はほぼ知られていない。まずは木や森、山に触れてもらい、それを通じて「林業」を知ってほしい、という思いを込め、ヨガ教室「結風」と協力し、黒滝村の山林にて「森のヨガ教室」を開催している。

また、2021年より黒滝村の道の駅「吉野路黒滝」内に「rin+」という木工製品のショップを開業。自社管理の山から伐ってきた木材を使った製品等を提供している。

他にも作業道開設体験の実施や、就労者向けの中長期的な林業研修計画、食品製造会社の㈱パンドラファームとタッグを組んで「㈱紀伊スタイル」を設立し、紀伊エリアの食と木を新たなスタイルで提供するプロジェクトを企画する等、日々、木を育てながら「林業」のイメージアップに取り組んでいる。





rin+ りんプラス



Kii STYLE



豊永林業 株式会社

業種分類　林業

事業内容　山林経営、保育、特殊伐採、素材生産、森林作業道開設、木製品販売

代表者名　代表取締役　増春 雅孝
所在地　奈良県吉野郡下市町下市135
連絡先　TEL:0747-52-2026／FAX:0747-52-2690
ホームページ　https://houeiforestry.com/
E-MAIL　ho-eida@chorus.ocn.ne.jp